

第43回かるた大会

第43回新春かるた大会実施要項

生徒部

1. 日時 令和2年1月7日（火）
S H R 8:50～9:00
移動 9:00～9:15
始業式他 9:15～9:50（服装検査含む）
移動 9:50～10:05
L H R 10:05～10:25
国語（実テ）10:35～11:15
昼休憩 11:15～11:45
移動 11:45～11:55
開会式 11:55～12:05（各教室・放送）



↑予選の風景

[予選リーグ] 各教室（全生徒が3回ずつ対戦をする総当たり戦）

- 1回戦 12:05～12:35
2回戦 12:45～13:15
3回戦 13:25～13:55

[決勝トーナメント] 水陵会館2階（勝者以外は教室で課題学習、15:00に点呼）

- 1回戦 14:30～15:00
準々決勝 15:00～15:30
準決勝 15:30～16:00
決勝戦・3位決定戦 16:00～16:30
表彰式 16:30～16:40

2. チーム編成

- (1) クラスごとに3名を単位としてチームを構成し、各クラス12チームとする。
3名×12チーム=36名に満たないクラスは2名チームで参加する。（かるた部員に注意）
端数になる場合は4名で構成し、交代して3名が競技に参加する。ただし、両方のチームが4名のチームの場合は4名対4名の対戦とする。対戦チームが2名の場合は、2名対2名の対戦とする。交代して参加をする。
(2) 欠席等の理由で大会当日3名未満となった場合は、他チームから補充するか、2名で参加する。判断は各担任が行う。
(3) かるた部部員は選手として出場することはできない。（水陵会館で運営補助）

3. 競技方法

- (1) 対戦するチームが、100枚の取り札を50枚ずつに分けて机上に並べ、どちらかのチームの取り札がなくなった時点で勝敗を決する。勝敗が決した時点での相手チームの残り札の数を得点化する。（例えば相手が9枚残っていれば、勝ったチームは+9、負けたチームは-9とする。）
(2) 3回戦までリーグ戦で行い、3試合分の総得点の最も多いチームが会場代表として、決勝トーナメントに進出する。同点の場合、3人ずつでじゃんけんをする。
(3) 決勝トーナメントは予選同様、源平合戦とし、自分のチームの取り札が早くなくなったチームがトーナメントを勝ちすすむ。

第43回かるた大会

以下、細則

- (4) 相手方の札をとった時は、自分方の札のどれか1枚を相手に送ることとする。
- (5) 「お手つき」をした時は、相手方から札を1枚送られることとする。
- (6) 読み始めるまで札の上に手を出さない。(机に手をかける程度)
- (7) 取り札が全体で5枚になったら1対1での対戦とし、他は抜ける。

(読み上げ中、放送で指示あり)

4. 表彰

3位までのチームを表彰し、賞状を授与する。また、各チーム(12チーム)の予選の総得点をクラス別に合計し、各学年の1位クラスを表彰し、賞状を授与する。

5. 諸注意

- (1) 予選・決勝において、防寒具の着用は認めない。
- (2) 決勝トーナメントにおける敗者チームは、試合終了をもって放課とする。勝者チームは会場に残り、次の試合に備えること。
- (3) 各自、実力テストに備え勉強できるよう準備しておくこと。(電卓等)
- (4) LHR・移動の時間に会場設営を行う。机の中および周辺に荷物を置かない。
- (5) 教室移動時に机・いすの数調整を行うので連絡のあったクラスは昼休憩に移動させる。昼食に影響がありますが、よろしくお願いします。
- (6) 貴重品の管理をきちんとする。

6. 役割分担

(1) 前日までの準備

かるた競技のルール指導	国語科
チーム編成・いす移動計画	生徒部(文化委員・執行部)
予選リーグ対戦表・決勝トーナメント表作成	生徒部(執行部)・かるた部
課題準備	学年

(2) 当日の準備

試合番号の確認、チーム構成の確認	担任・副担
暖房(水陵会館)	かるた部
賞状の準備	生徒部
かるた準備、トーナメント表の掲示	生徒部(文化委員)・かるた部

(3) 当日の運営

開会式(放送)	生徒部(執行部)
生徒誘導・指導	担任・副担
生徒配置・競技運営	各教室
	水陵会館
読み手(予選は放送で行う)	かるた部・国語科他
校内外の巡視	生徒指導部
救護	保健部
放送(チャイム)	教務部

※かるた大会チーム分けLHR (全学年) 11月20日(水) 6限